



学校だより

第55回大峰祭

坂城中学校 生徒会長 玉田 柊

9月24日、25日の2日間にわたって行われた坂城中学校の第55回大峰祭は、生徒の皆さん、先生方、PTAの方、上田女子短期大学灯プロジェクト実行委員会、町の皆様方のご協力により、大成功におわりまし

た。新型コロナウイルスの影響により、大峰祭の計画が毎週変更され、その対応に忙しい日々が続きました。今回の大峰祭テーマである「オールスター」が意味するものは、SDGsをもとにした全校生徒の個性が尊重され、自分自身を表現して輝く「友愛」の姿の実現です。このテーマの実現のために、個性の表現の場として「ステージ発表」を行ったり、町民の皆様にご自分の大切な人や平和、人権尊重に思いをはせる機会をお届けするために上田女子短期大学と協力し「灯プロジェクト」を行いました。ステージ発表では発表者が全力でそれぞれの個性を發揮し、それを見る側は表現された個性



▼灯プロジェクト キャンドル展示の様子（大峰祭閉会式）

を受けとめて盛り上がりました。灯プロジェクトの夜の展示には、多くの方が来校し、キャンドルの明かりが穏やかに輝く中、家族や友達との大切な時間を過ごしていました。これらの企画はたくさんの方の支え

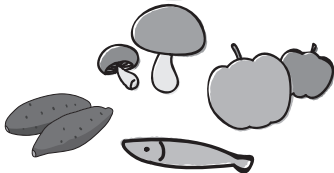
があつて実現しました。特に灯プロジェクトでは上田女子短期大学の方やPTAの方など、本当にたくさんの方の支えがあり、私たちの活動は多くの方の支えの上に成り立っていると感じています。今回の大峰祭を通して私達は人の個性のすばらしさ、身近な人の大切さを知ることができ、多様性が重視されるこれからの社会で生きる力「友愛」を得るきっかけになったと思います。文化祭を通して「オールスター」を坂城中に創り上げることができ、本当によかったと思います。

家庭で食品ロス削減について考えてみませんか？



食育だより

旬の食べ物を使う



「旬」とはその食材がよく穫れ、熟し、味の良い季節や時期のことで、鮮度の良いものがたくさん出回ります。素材の味で十分おいしく、季節の味として、大切に食べる気持ちも出てきます。

家族と一緒に料理をする

作り手になると食べ物への見方が変わります。作ることの大変さや、感謝の気持ち、残すことのもったいなさなどを意識することができます。また、野菜や果物の皮や芯は最低限だけ切り落とすなど、食材を無駄にしない工夫を子どもたちに伝える機会にもなります。

お買い物は計画的に



必要な分だけ購入できるよう、事前にチェックしましょう。賞味期限内ですぐに食べてしまうものは、日付の新しさにこだわらず購入することで、お店で無駄に処分されるものを減らすことにもつながります。

食育・学校給食センター
082-25559